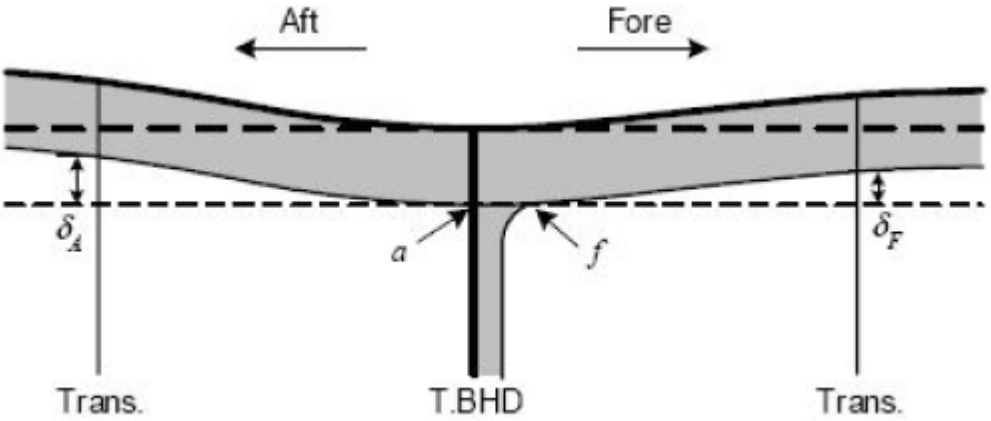
KC#342

1. 横置隔壁の縦通肋骨の疲労解析に対するばら積貨物船 CSR8 章 4 節[2.3.6]に関する下記の質問を IACS PT に送付願います。

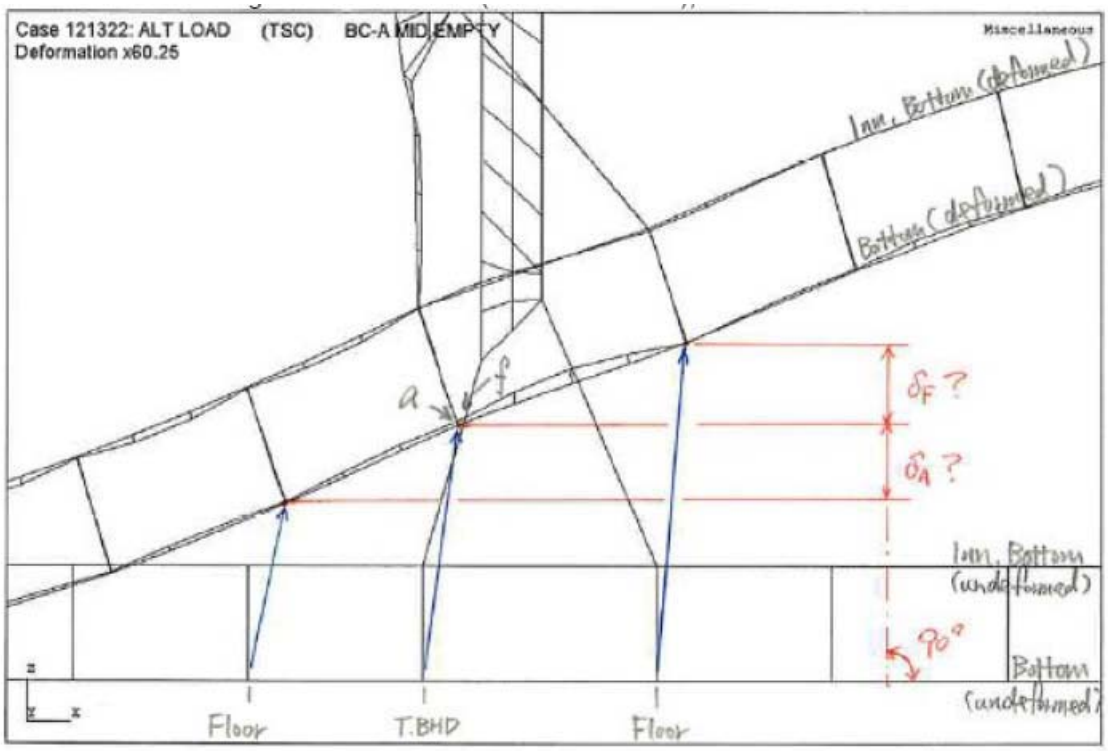


2 相対変位δ_A, δ_F

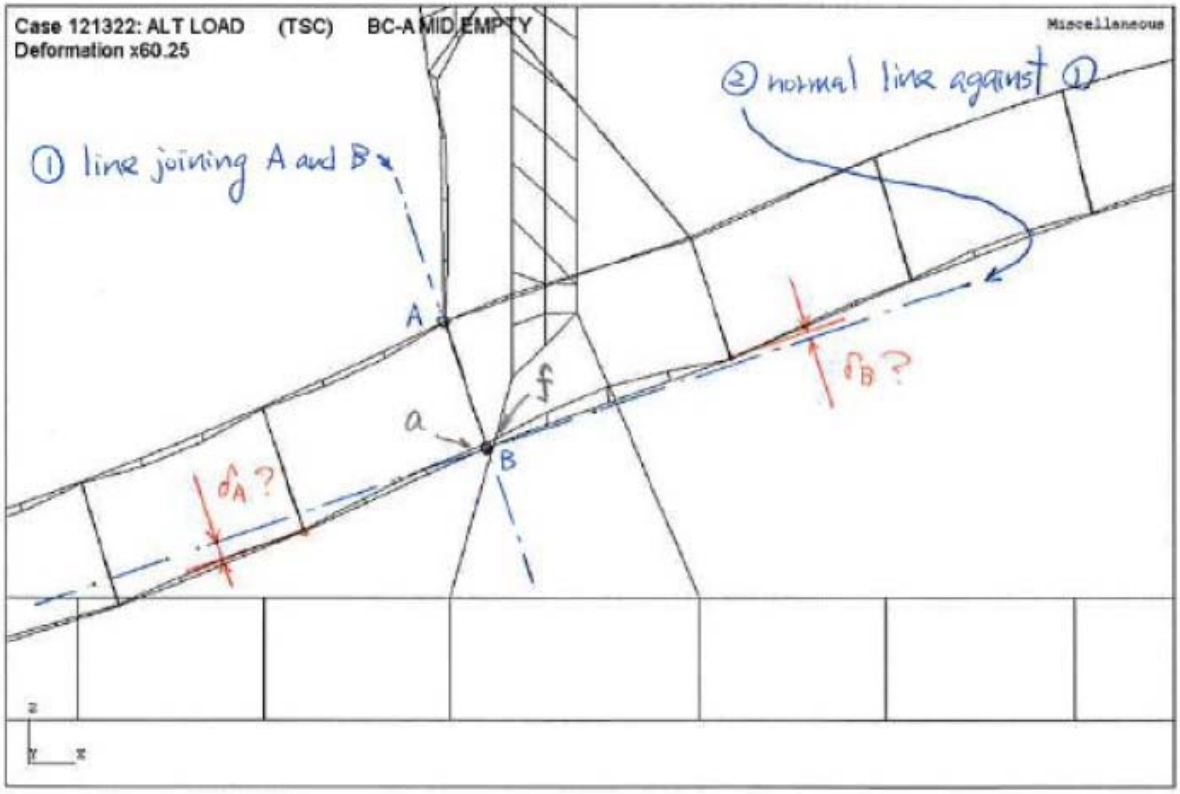
隔倉積状態の変位の例を変形していない形状とともに下記に示す。この相対変位の取り扱い方法を検討し、いくつかの考えを図に示します。Case 1 から Case 3 に示す解釈のどれが正しいのかご確認願います。

2.1 船底

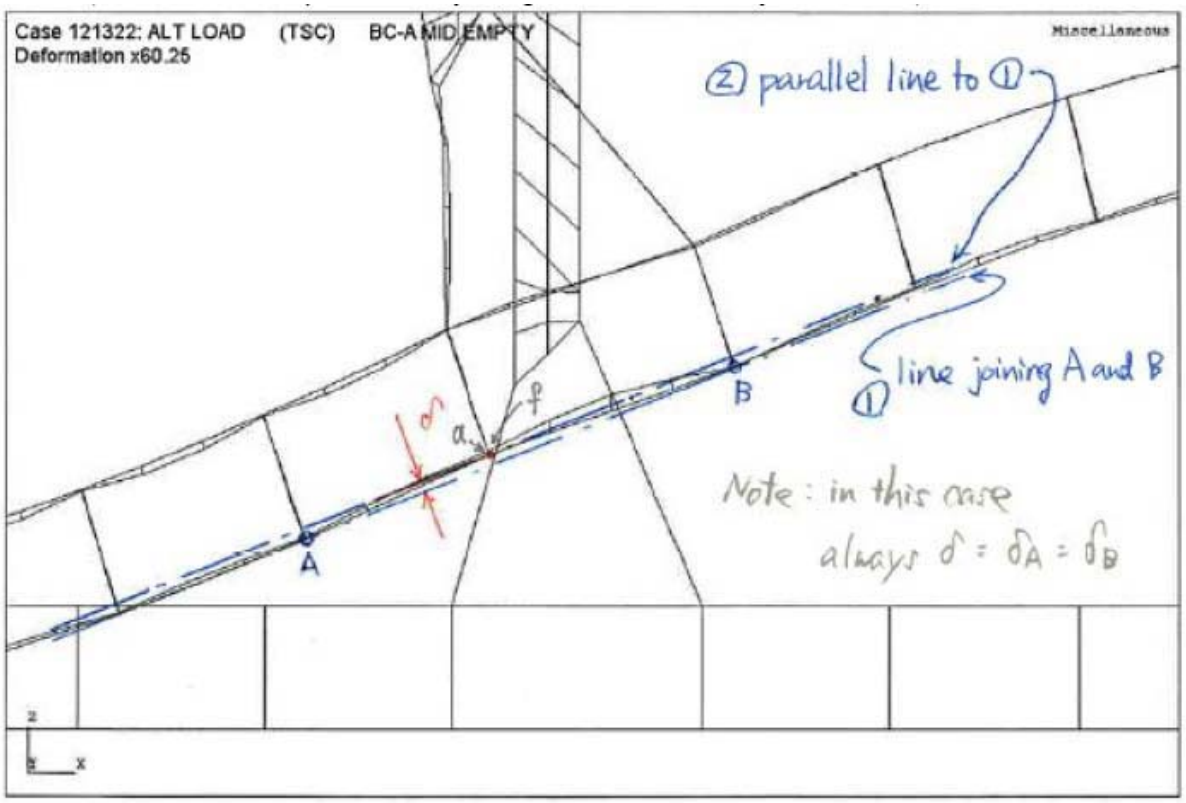
Case 1 全体座標系の Z 軸方向（垂直方向）に測られる変位



Case 2　考慮している位置における AB の法線と平行な線からの測られる変位

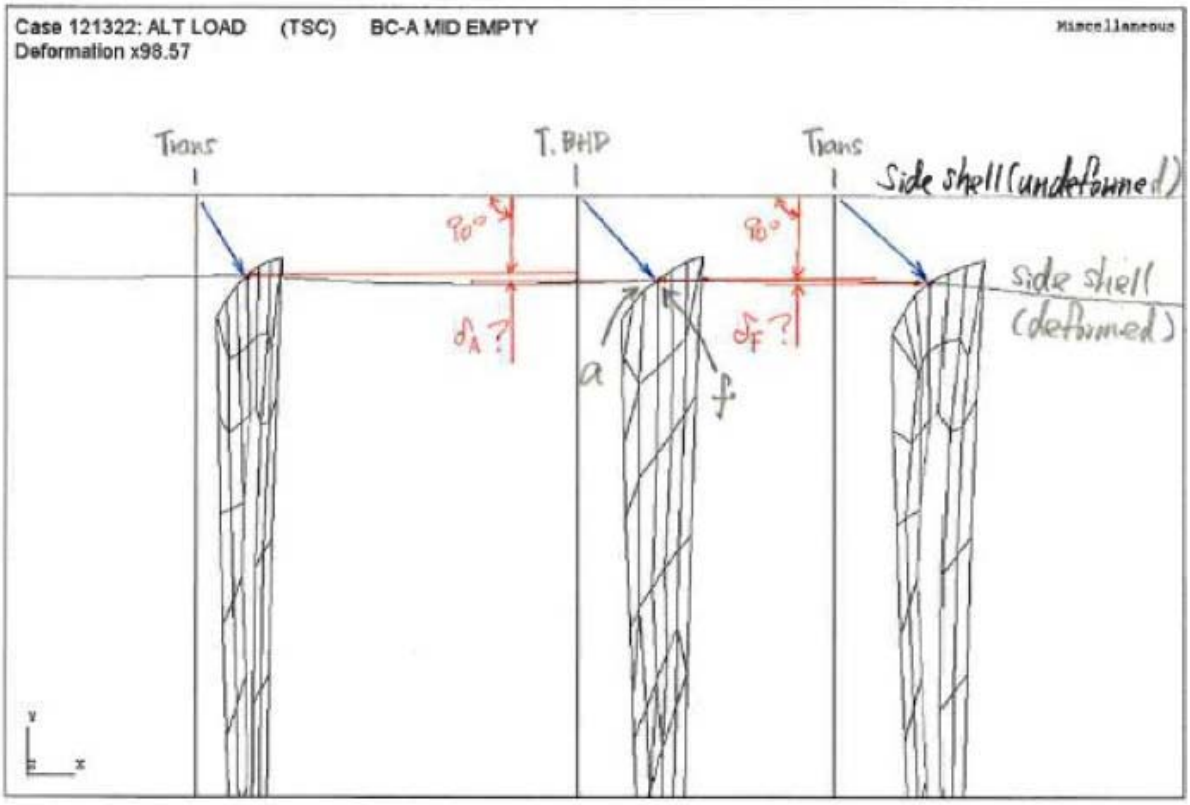


Case 3 隣接するフロア A 点と B 点を結んだ線と平行な線から測られる変位



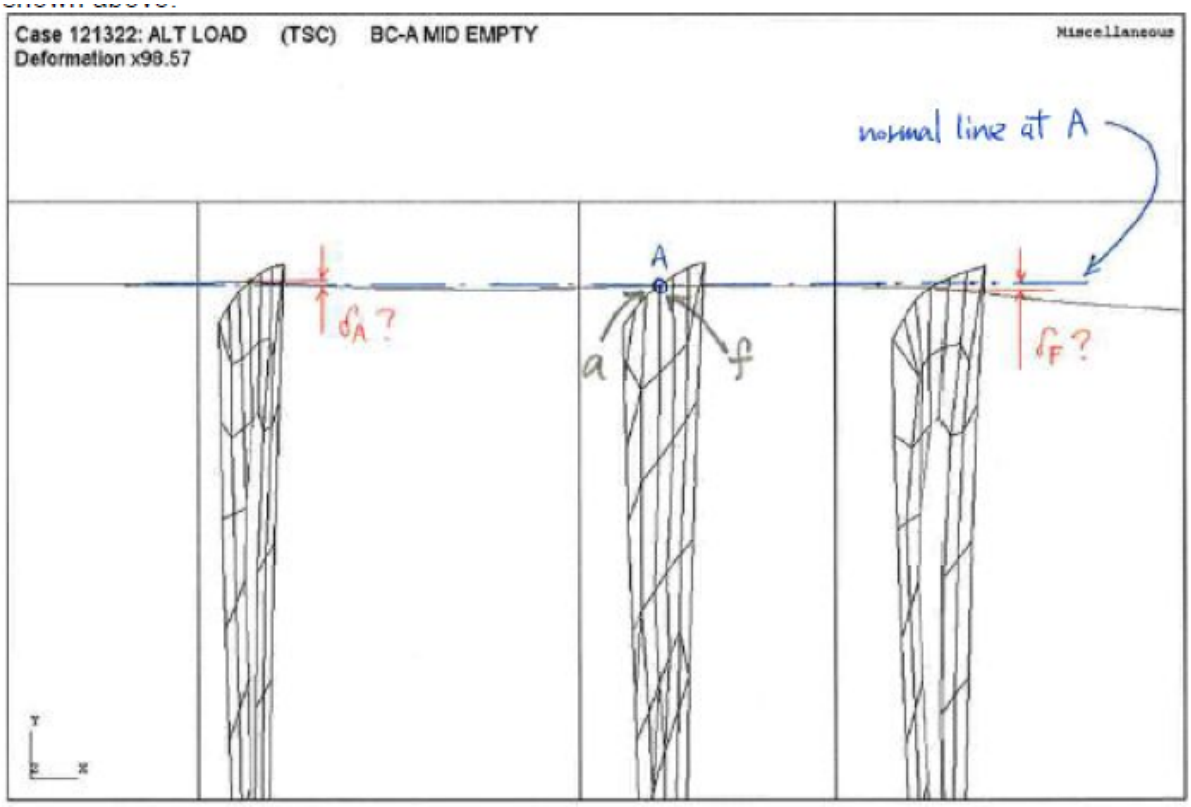
2.2　船側

Case 1 全体座標系の Y 軸方向(横方向)に測られる変位

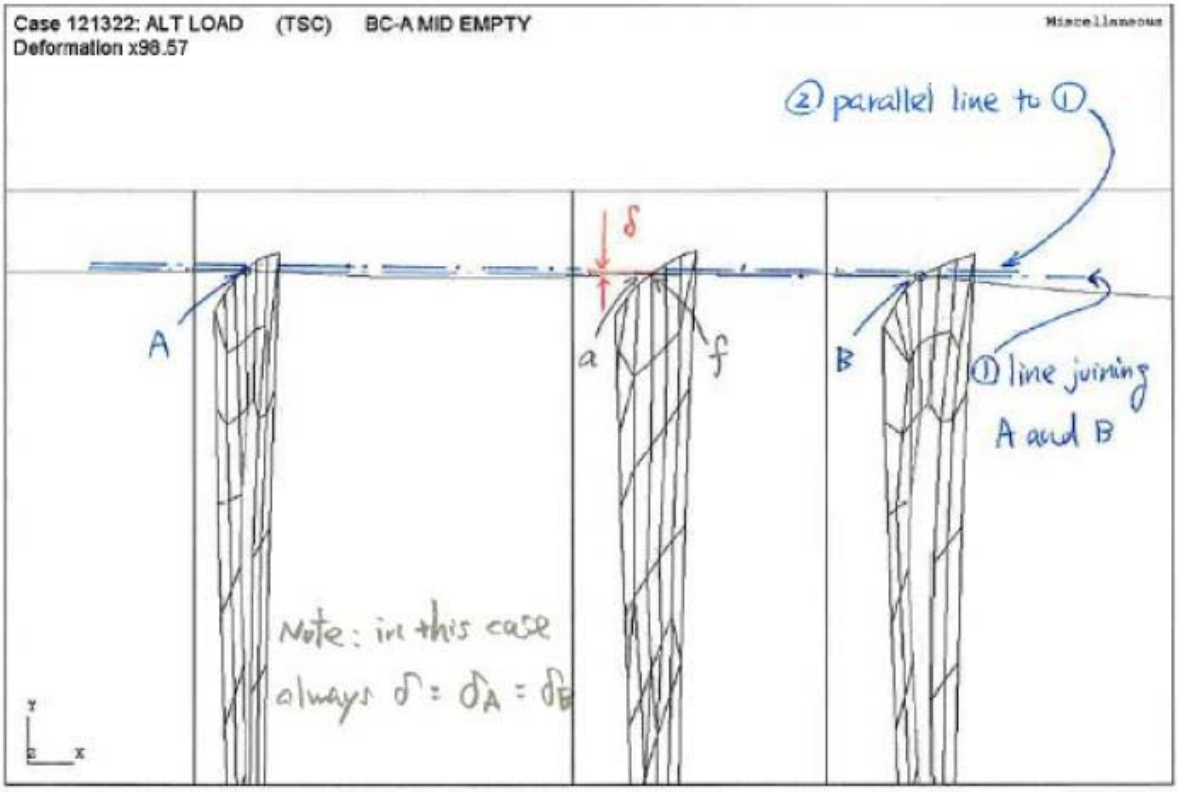


Case 2　考慮している点において直角な線から測られる変位

しかしながら、上記に示した内底板の例のような結合点（Case 2 の B 点）がないため、直角な線を引くことは困難と思われる。



Case 3　隣接する横桁 A 点と B 点を結んだ線と平行な線から測られる変位



3.　本件に関する解釈を早急に必要です。